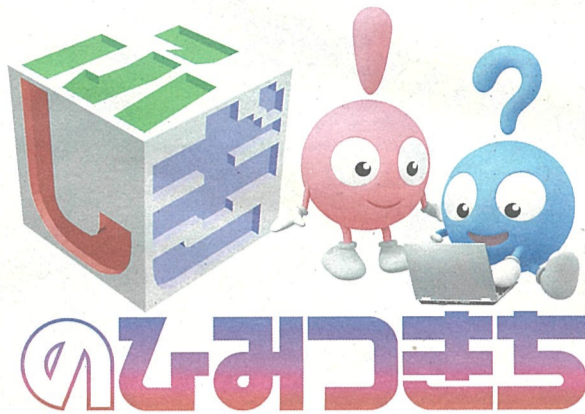


今回のテーマ

噴火しそうな火山はいくつ?



No.053

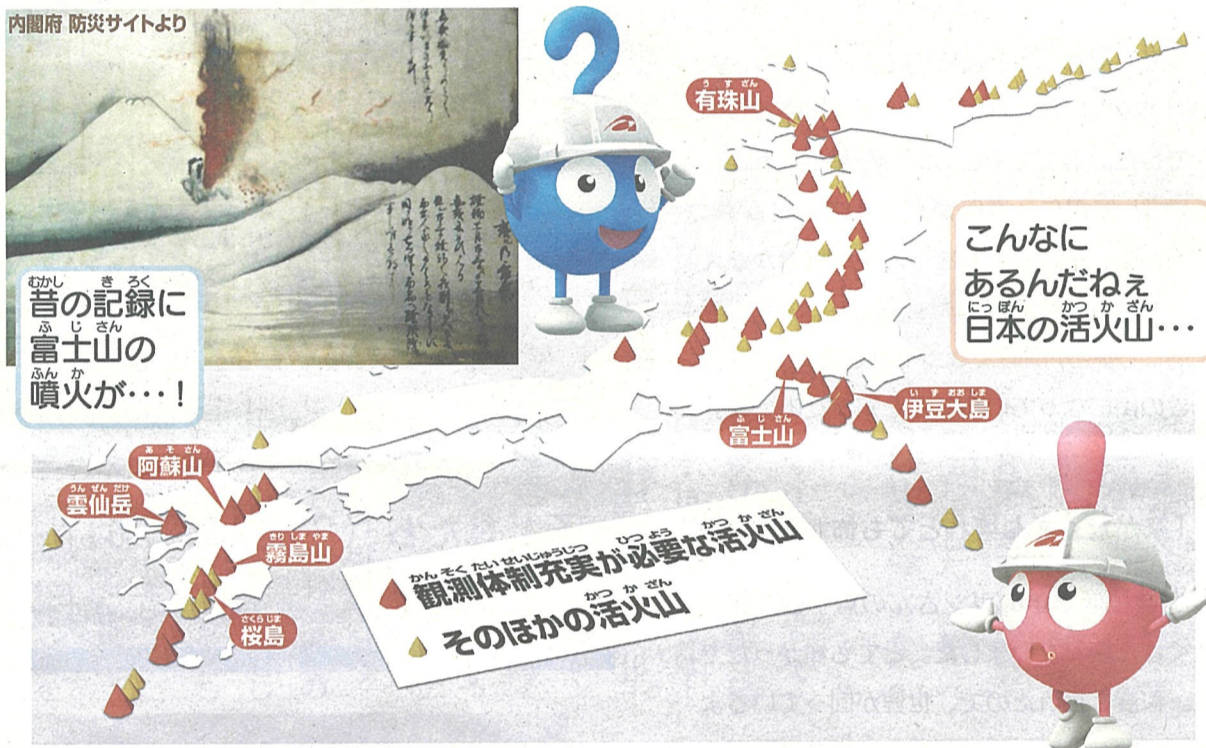
もしかしたら噴火するかもしれない火山が日本中にはたくさんあります。どうやってそれを決めているの?

「火山国」として知られる日本には、約450もの火山があります。ほとんどは何万年も前に活動を終えた火山ですが、最後の噴火からあまり時間がたっていないで、将来噴火するかもしれない火山もあります。それが「活火山」です。どの火山が活火山なのかを知ることは、噴火に備えた観測や噴火した時の避難する決まりを作るために、とても大切です。

◇活火山はどんな火山?

1918年、日本で44の火山が活火山に指定されました。その時の指定の基準は「噴火記録が残っている火山」でした。富士山は江戸時代に噴火した記録が残されているので、もちろんそこに含まれていました。

でも、残された噴火記録の時代は、地域によってまちまちです。例えば、関東地方の火山は1400年前の記録が残されていますが、北海道の火山では400年以上前の記録が残っています



ん。そこで、91年に活火山を決める基準が変更されました。噴火記録だけでなく、地層に残った火山灰などを調べることで「過去2000年以内に噴火した火山」と「ガスや水蒸気を出す噴気活動が活発な火山」を活火山とするようになったのです。これによって、日本の活火山は83に増えました。火山の研究がさらに進む

と、噴火の間隔が2000年より長い火山もあるとわかってきて、2003年には基準が「おおむね過去1万年以内に噴火した火山および活発な噴気活動がある火山」とされ、活火山の数は108に増えました。

◇活火山が増える?

現在、日本の活火山は111です。数が増えたのは火山活動が

活発になったためではなく、火山の調査研究が進んで噴火活動が明らかにされた火山がリストに加わったからです。最近でも、最後の噴火時期が不明だった三岳火山(栃木県)が5600~3500年前に噴火していたことを産業技術総合研究所の研究者が突き止めました。次の活火山リストで、またいくつかの火山が追加されるでしょう。

今日の先生



川辺禎久さん

「火山が大好き。小学生時代は、星空が好きな天文少年でした。飛行機や落語を聞くのも大好きです」

産業技術総合研究所(産総研) 活断層・火山研究部門。専門は、火山噴火の歴史を調べること。出身小学校は鹿児島市立原良小。

さんそうけんって?

日本で最大級の公的研究機関なんだ。茨城県つくば市など、全国11か所の研究拠点があって、日本の産業や社会に役立つ技術について研究を進めているよ。

キッズむけウェブページはこちら → (さんそうけんサイエンスタウン)

